

第2回 特定テーマワーキンググループ② 活動結果報告

● ワーキンググループの趣旨

まちづくり分野へPFSを導入するにあたってのポイントや成果となり得る指標について議論する。

● 開催概要

開催日時：2022年5月27日(金) 13:30～15:00 開催手段：オンライン(ZOOM)

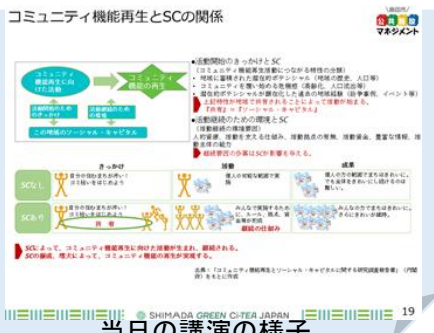
● 開催内容

事例紹介①

『静岡県島田市の事例(金谷地区生活交流拠点整備運営事業について)』

<講演概要>

- ・島田市の紹介
- ・発案に至った背景
- ・SIBの成果指標「ソーシャル・キャピタル(SC)」とは
- ・事業の全体像
- ・成果の測定と対価の支払い方法
- ・まとめ



当日の講演の様子



島田市役所
行政経営部
資産活用課
岩本 達夫 氏

事例紹介②

『「金谷地区生活交流拠点整備運営事業」SC醸成・向上』

<講演概要>

- ・大和リースの経営方針と事業実績
- ・事業参画までの経緯
大和リースの経営ビジョンと事業実績
- ・提案書作成の苦労
SCと市の狙いに関して
成果連動支払い方式と地域の意見
(日本的)ソーシャル・キャピタルとは
- ・今後の対応・取り組み内容
- ・当事業におけるまちづくりの考え方
- ・PFS事業のよい点・悪い点



当日の講演の様子



大和リース株式会社
民間活力研究所
事業創造課
小林 秀人 氏

● 質疑で頂いたご質問概要

- Q1 ほかに検討した数値目標はあるか
- Q2 島田市でSIBを導入したきっかけは？参考にした事例はあるか
- Q3 SC醸成業務の予算化に当たって、庁内・議会へどのような説明をしたか
- Q4 成果評価の数値で100%以上の支払いはあり得るか
- Q5 PFS導入にあたって調査や第三者委員会設置にかかるコストはどのくらいか
- Q6 ロジックモデル提案時、実施事業内容とその成果について説明できる状態にあったか
- Q7 PFIでの支払額とPFSでの支払額の割合はどの程度か
- Q8 市政・施策としてのゴールはあったか。あった場合は、その方向性にSC指標はなじむか
- Q9 どうすればPFSに取り組む企業が増えるか

● 第2回まとめ

地域課題は多くの自治体で共通するため、まちづくりへのPFS導入はビジネス成立に寄与するスキームとなり得る。一方で、まちづくりは成果が出現するまで相当の時間がかかるため、事業終了後のまちの状況について事業者との認識のすり合わせが肝要